

相互乗り入れの運行経費と需要確保の考え方

I. 運行経費の見込み

・第1回会議で提示した運行案について、事業者からの聞き取りをもとに作成

	えちぜん鉄道		福井鉄道	
	第1段階（暫定）	第2段階	第1段階（暫定）	第2段階
運行本数増（/日）	26～40本	40本	0～14本	14本
運行キロ増（/日）	75～115km	390km	0～295km	295km
運行経費増（/年）	約900～1,000万円	約2,700万円	約500～2,000万円	約2,000万円
両鉄道の利用者への換算	乗客2～3%相当 65～70人/日	乗客7%相当 185人/日	乗客1.5～6%相当 35～140人/日	乗客6%相当 140人/日

II. 潜在需要の見込み

・通勤目的の場合、中心市街地との移動と両鉄道沿線エリアの移動では鉄道利用割合に大きな差があり、潜在需要として相互乗り入れにより開拓できる可能性

	通勤	通学	買物や病院等	出張等	計
中心市街地との移動	7,783人中	1,425人中	9,439人中	5,140人中	23,787人中
内鉄道による移動	677人(8.7%)	83人(5.8%)	364人(3.9%)	21人(0.4%)	1,145人(4.8%)
両鉄道沿線エリアの移動	4,006人中	1,146人中	2,531人中	1,937人中	9,620人中
内鉄道による移動	77人(1.9%)	345人(30.1%)	50人(2.0%)	0人(0.0%)	472人(4.9%)

※ 平成17年福井都市圏パーソントリップ調査に基づく人の動き

III. 相互乗り入れを行う効果

- ① 相互直通運行やダイヤ接続により、所要時間が短縮
- ② 直通便の増便に伴い運行本数が増加
- ③ 乗継割引の導入や初乗り運賃統一により、運賃負担が軽減
- ④ 最新鋭のLRV車両の導入により、まちのイメージを刷新

これらにより車からの転換や新規需要を創出する。

区間	鉄道利用	
	相互乗り入れ後	現 状
神明～西福井 (通学)	45分 (-8分)	53分 510円
新田塚～公園口 (業務)	30分 (-22分)	52分 380円
西長田～ベル前 (買い物)	49分 (-24分)	73分 600円

IV. 潜在需要を取り込むための利用促進策

○両鉄道事業者・市町・県は、民間企業の協力を得つつ、相互乗り入れにあわせ、車からの転換促進など需要喚起する利用促進策を強化する必要

(施策例)

- ・電停・駅の改修により安全性・利便性を向上
- ・公共交通優先信号（PTPS）の導入により福井鉄道軌道部の定時性を確保
- ・乗継割引や共通運賃の設定、発券システムの共通化
- ・「動くシンボル」となり得るLRVの斬新なデザインを検討
- ・通勤・業務・私用での鉄道利用を開拓（朝ラッシュ時の乗り入れ便増発・乗継ダイヤを改善、団体割引定期券・無記名定期券や片道定期券の導入、駅自転車車の活用、カー・セーブの促進等）
- ・臨時（季節）電車の運行

V. 相互乗り入れの両鉄道における意義

- ・両鉄道では、新駅設置やP&R推進、駐輪場設置などに取り組んできたが、近年利用者数の伸びは鈍り、現状のままの運行形態では、両鉄道とも大幅な利用者の増加は見込めない状況
- ・相互乗り入れは、運行経費の増加や短期的な両鉄道の収支という観点だけでなく、両鉄道が長期的に利用者を増やすための抜本的な利用促進策として有効

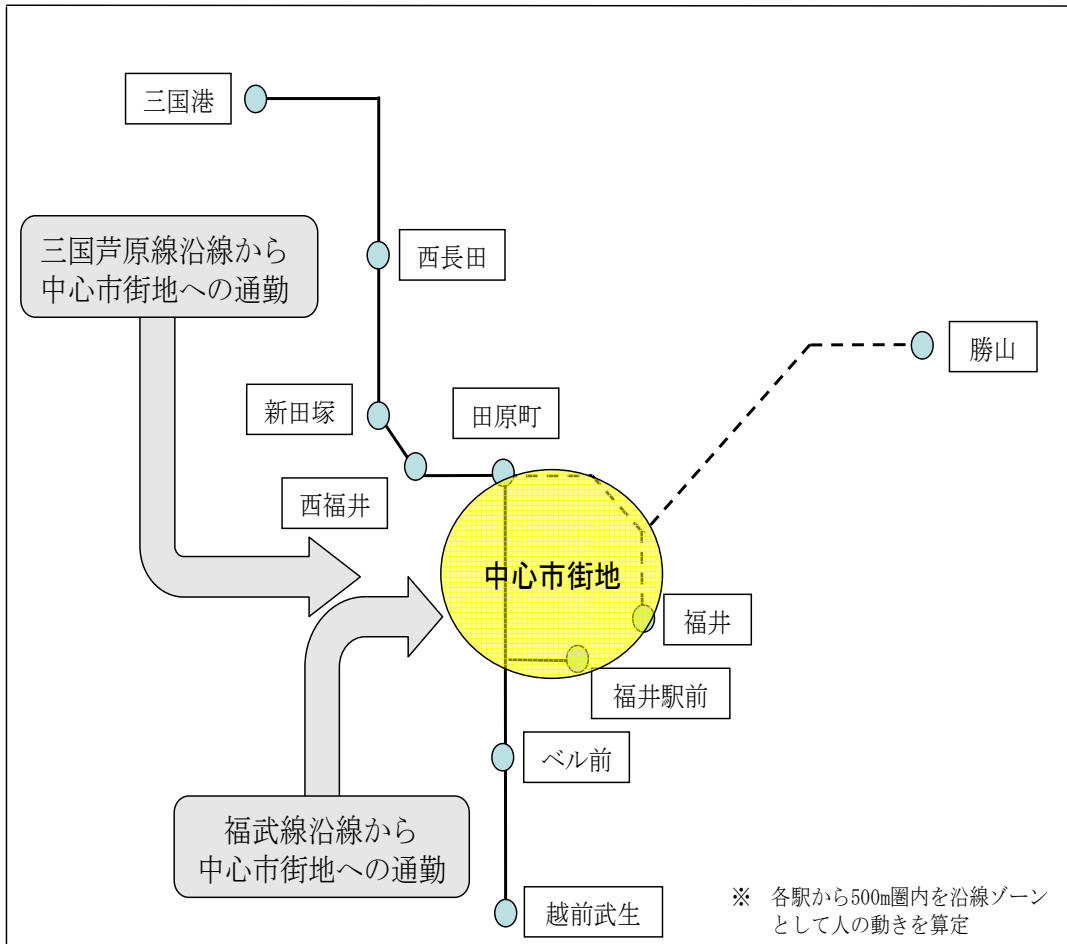
(両鉄道利用者数の推移)

	H元	H12	H16	H20	H21	将来目標
京福電鉄/えちぜん鉄道	392万人	303万人	242万人	318万人	311万人	380万人
福井鉄道	292万人	183万人	162万人	161万人	164万人	200万人

えちぜん鉄道・福井鉄道沿線の人の動き（現状）

※ 平成17年福井都市圏パーソントリップ調査に基づく人の動き

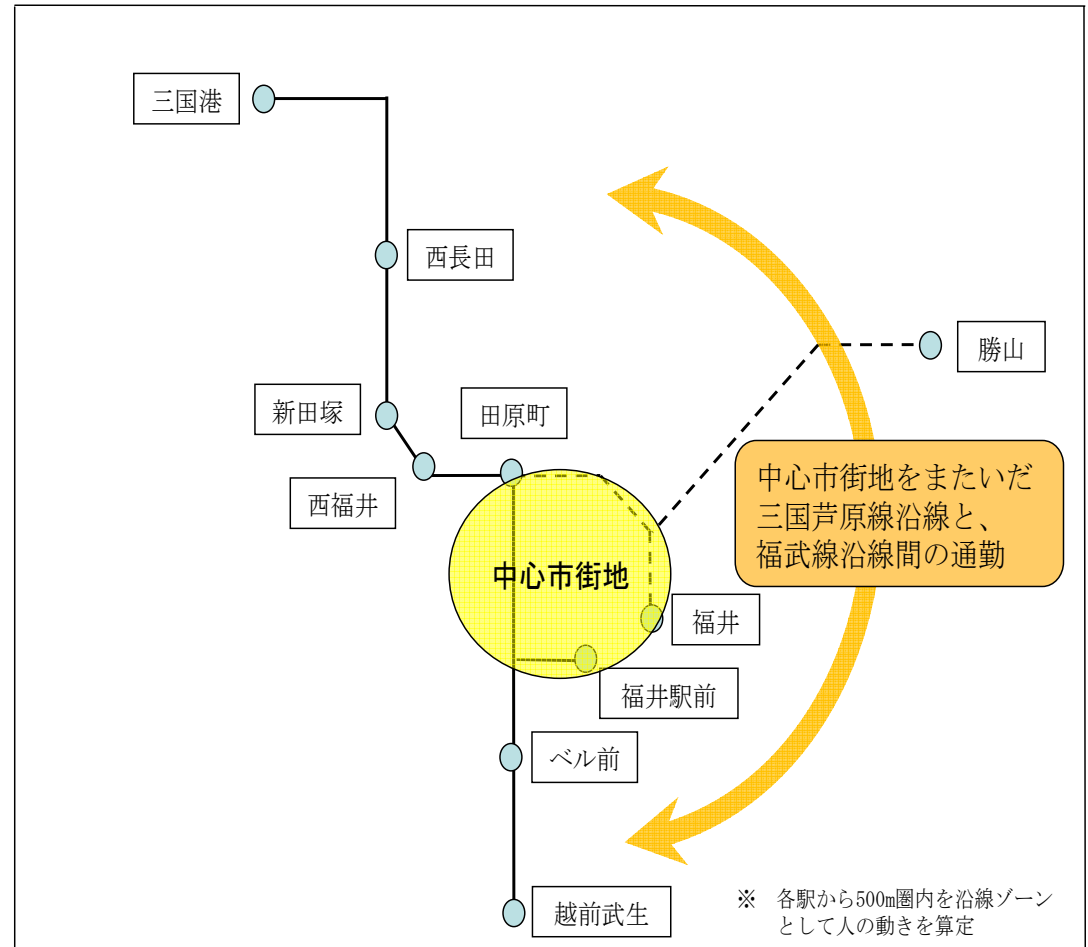
【中心市街地への通勤】



【中心市街地への通勤】
7,783人／日

【中心市街地への通勤】
うち鉄道利用者(8.7%)
677人／日

【両鉄道沿線間の通勤】



【両鉄道沿線間の通勤】
4,006人／日

【両鉄道沿線間の通勤】
うち鉄道利用者(1.9%)
77人／日

今後の進め方（案）

8月

第2回事業検討会議

- 【議題】①運行経費と需要確保の考え方
②田原町駅などの概略調査の実施

（第3回会議に向けての検討事項）

- ①運行案・運行経費の見直し
（事業者・市町で協議した案をもとにWGで調整後、第3回会議に提示）
- ②利用者目標および割引運賃
（事業者の案をもとにWGで調整後、第3回会議に提示）
- ③利用促進策
（WGで調整後、第3回会議に提示）

10～

11月

第3回事業検討会議

- 【議題】①運行案・運行経費の見直し
②利用者目標および割引運賃
③利用促進策

（第4回会議に向けての検討事項）

- ①共通発券システムやLRVの仕様
（事業者の案をもとにWGで調整後、第4回会議に提示）
- ②電停（含む体育館前）の拡幅・再配置およびPTPSの整備
（福井市・福鉄等で整理した案をもとにWGで調整後、第4回会議に提示）

23年

1月

第4回事業検討会議

- 【議題】①事業費、事業手法
②費用負担
③その他
- ・共通発券システムやLRVの仕様
 - ・電停（含む体育館前）の拡幅・再配置およびPTPSの整備